

“小さな群れよ、恐れるな。あなたの父はよろこんで神の国をくださる”（ルカ 12-23）

カトリック美唄教会 ・ カトリック砂川教会 教会だより

小さな群れ

2025年7月
2025年6月29日発行
主任司祭 ナルチゾ・カヴァッツォラ

ホームページ <https://caterina.sakura.ne.jp>

教会は、キリストの生涯を、待降節、四旬節、復活節、年間などの
典礼の季節にあわせ1年の暦を通して記念していきます。また、聖マ
リアや聖人聖女の出来事も然るべき日に記念することによって作ら
れています。



それぞれの季節や日にふさわしく、キリストによって、キリストを
通じ、キリストと共に全教会は心をつにして神に祈っていきます。

6月からすでに「年間」に入っているとはいえ、大きな主の祭日が続いていました。今月か
ら、11月末まで、長い年間の季節に入ります。



この年間の時期、平凡ともいえる日常生活の中で、さまざまな方
法で語られる“神の言葉”に気づき、その神の言葉に生かされた日々
としていくことが大切です。そのためにも、毎日 教会が典礼の中で
提供する神の言葉に、触れるのは助けになるでしょう。

毎日1つの言葉でも、1節でも自分に響く言葉を綴っていくと、34
週まで続く年間を有意義なものにすることができるでしょう。また、綴ったものを振り返
り、読み返すと、自分がどのように導かれてきたかにも気づく助けとなるでしょう。

私たちは、教会と共に、救いの歴史とキリストの神秘を記念し、祈り、生きられるよう
になっている救いの歴史のサイクルをよく活用していきましょう。（参考：Laudate）

砂川教会 お知らせ

砂川市東5条南3丁目3-1 TEL 0125-52-4617 FAX 0125-52-4618

7月の主な典礼・ミサ時刻

日	曜	典礼暦	担当
6	日	年間第14主日 P4 平和を願う 当教会出身聖職者・修道者のために祈る	9:00 ミサ 先読み： 多田 第1：間野 第2：三上朋 答唱詩篇：三上夫妻 オルガン：
13	日	年間第15主日 司祭と召し出しを求めるために祈る	9:00 ミサ 先読み： 高塚 第1：安藤 第2：久保 答唱詩篇：間野・木下 オルガン：能村
20	日	年間第16主日 病者と洗礼志願者のために祈る	9:00 ミサ 先読み： 多田 第1：西川 第2：木下 答唱詩篇：三上夫妻 オルガン：
27	日	年間第17主日 教会から離れた信者のために祈る	9:00 ミサ 先読み： 高塚 第1：本田 第2：野呂 答唱詩篇：多田・安藤 オルガン：
◆平日のミサ 月曜日～金曜日 6:00 土曜日 10:00			

◆今月の霊名記念日の方

6日 トマス・モーア 本田 信輔
29日 聖マルタ 篠田 美代子

◆お知らせ

・毎週水曜日 10:00～ 聖書に親しむ会を実施しています。

◆幼稚園関連

・11日 年長お泊り会
・18日 終業式

砂川 花当番	
6日(土)	安藤
13日(土)	木下
20日(土)	高塚
27日(土)	多比良





美唄教会 2025 年 7 月 主日ミサ・平日のミサ予定

美唄市東 2 条南 3 丁目 2-10 TEL & FAX 0126-63-2434

美唄教会 小さな群れ
通巻No.338
2025 年 7 月
2025 年 6 月 29 日発行

・主日ミサ 朝の祈り ; 司祭のための祈り

日	曜	ミ サ		各種勉強会	会議・その他事項
		主日・祭日	時 間		
4	金		午前 10 : 30	聖書に親しむ(ミサ後)	
6	日	年間第 14 主日	午前 11 : 00		
11	金		午前 10 : 30	聖書に親しむ(ミサ後)	
13	日	年間第 15 主日	午前 11 : 00		ミサ後 運営委員会
16	水				ロザリオの祈り 聖堂にて午後 5:30~
18	金		午前 10 : 30	聖書に親しむ(ミサ後)	
20	日	年間第 16 主日	午前 11 : 00		
25	金		午前 10 : 30	聖書に親しむ(ミサ後)	
27	日	年間第 17 主日	午前 11 : 00		

《 平日のミサ 》 金曜日のみ 午前 10 : 30 4・11・18・27 日です
《 聖書に親しむ 》 平日のミサ後、旧約聖書に親しんでみませんか。

霊名の祝日 (敬省略)		清掃当番	花当番
1 日 ペトリ岐部	菅野 雄太郎	【第2週】 小川(知)・三間 【第4週】 ウッケッドウ恵美	船野
3 日 トマス	小川 昇		
6 日 マリアゴレッティ	岡 由紀子		
11 日 ベネディクト	河野 二郎		
13 日 ローザマリア	山本 育子		
16 日 カルメル山マリア	谷 由美子		
26 日 アンナ	菅野まり子 菅野向日葵 洲之内 京子		

【お知らせ】

- ◎ 8 月 17 日(日) 慰霊ミサを予定しています。後日詳しいご案内をいたします。
今からご予約にいらしていただきますようお願いいたします。
- ◎ 幼稚園の予定 11 日(金) 自由参観日・リスの日 ※午前中駐車場注意下さい
15 日(火) 誕生会 (聖堂使用)
18 日(金) 1 学期終業日
夕涼み会 (午後 3 時より)

入院生活をふり返って

美唄教会 中村 信子



この度の入院に際し、皆様のお祈りと励ましのお言葉を頂きありがとうございました。

恥ずかしながら3ヶ月近くの入院生活で感じた事、思い出す事を書いてみました。

病院という静かなはずの所ですが、一日中ざわついていて騒がしく、落ち着かない毎日でした。でもこれは、自分の心の状態が荒れていて、いつも苛立っていたからだと思います。眠れない夜が続きました。

お祈りができませんでした。口ザリオを握っていても、その日の福音を読んでも、集中できず、お祈りも小さな黙想も何も考えられませんでした。四旬節中なのに……。寝る前に病室の天井を見ながら、「神様、私をあわれんで下さい」とつぶやいただけでした。こんな自分がとても情けなく思いました。

四旬節第4主日の福音は「放蕩息子」の話でした。遠くから父親が自分の息子を見つけ、走り寄って迎える姿を思い浮かべた時、あの兄弟の兄のように普段の生活が十分な恵みのうちにあること。そして今、弟のようにみじめでボロボロの自分をも見つけて下さると思った時、これまで何度も聞いてきた箇所ですが、あらためて深く心に残った事を思い出します。

病院の廊下の窓から、美唄教会の塔と赤茶色の屋根が見えます。日曜日はリハビリがお休みなので、いつもゴミサの始まる頃、そこで見ていました。

この街に教会があること、そして毎週、主の食卓に招かれていることに感謝しました。

ご復活祭を迎える頃でも、まだ立つことができず車椅子でしたから、退院の目処が立っていませんでしたが、必死でリハビリを頑張りました。お陰様でやっと自分の足で歩けるようになりました。感謝です。

「神の家に行こうと言われて、わたしの心は喜びにはずんだ」(詩編122・1)

今の私の正直な気持ちです。